



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ジオネクスト
 代表者名 代表取締役社長 山田 哲嗣
 (コード：3777、JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画管理本部長 森蔭 政幸
 (TEL. 03-6261-0081)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 14 日開催の取締役において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年 2 月 13 日の平成 29 年 12 月期決算発表時に開示した平成 30 年 12 月期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正

(1) 平成 30 年 12 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	455	49	43	37	0.35
今 回 修 正 予 想 (B)	1,700	49	10	5	0.05
増 減 額 (B - A)	1,245	0	△33	△32	—
増 減 率 (%)	273.6	0.0	△76.7	△86.5	—
(参考)前期第2四半期連結実績 (平成 29 年 12 月期第 2 四半期)	247	△16	△64	△65	△0.63

(2) 修正の理由

当社グループの中核事業の一つである再生可能エネルギー事業では、発電所の開発及びその代行、第三者への売却並びに売電事業等を行っております。当社が平成 30 年度 12 月期に計画しておりました当社連結子会社であるエリアエナジー株式会社が保有する太陽光発電所の売却について、発電所売却による売上高目標以上の取引成立を目指した営業活動により、当初想定しておりました太陽光発電所売却時期が、平成 30 年 12 月期第 1 四半期中に発電所売却に関する契約が成立したことから、売上高が当初予想を上回る見通しであります。

しかしながら、発電所の譲渡取引を有する企業から、合意内容の相違により発生した損害に対する費用負担の請求を受けておりましたが、当該企業へ解決金を支払った事により、平成 30 年 12 月期 第 1 四半期に和解金を計上しました。その結果、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については当初予想を下回る見通しであります。

2. 平成30年12月期通期連結業績予想の修正

(1) 平成30年12月期通期連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,600	67	61	53	0.49
今回修正予想 (B)	2,000	80	61	53	0.49
増減額 (B - A)	400	13	0	0	—
増減率 (%)	25.0	19.4	0.0	0.0	—
(参考)前期連結実績 (平成29年12月期)	1,297	57	17	14	0.14

(2) 修正の理由

平成30年12月期第2四半期(累計)連結業績予想の差異を踏まえ、当社グループの中核事業の一つである再生可能エネルギー事業における発電所の売買について、太陽光発電所のセカンダリーマーケットの活性化等により、売上高が当初予想を上回る見通しであることから、売上高、営業利益について業績予想を修正いたします。

今後、当社グループの再生可能エネルギー事業については、引き続き売電による安定した収益を上げつつ当社グループの中期的な観点での売上及び利益を上げる発電所売却取引の成立を目指した営業活動を継続する予定であります。

ご注意： 本資料に記載しております業績に関する予想値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。

以 上